### 緑の地球を子どもたちへ



# パック運通信

事務局: 山梨県大月市御太刀 1-2-10

No.119 2021年12月10日新 全国牛乳パックの 再利用を考える連絡会

TEL. 0554-22-3611

## 都内の学乳パックリサイクル実施校を視察

東京都では2020年から学乳パックリサイクルを実施すると、各区教育委員会に通達したことを 受け、西東京市や練馬区などで学乳パックリサイクルを導入しています。

学乳パックのリサイクルが低迷している状況から、啓発パンフレットを改訂するために、リサイクルを実施している2校へのヒアリングを行いました。

両校とも1年生からしっかり学乳パックを「開いて、洗って、乾かす」ことを徹底していて、何よりコロナ禍であっても元気に活動している子どもたちの姿が印象的でした。

#### 市内で先行して実施 西東京市立東小学校

去る 11 月 29 日に西東京市東小学校に訪問しました。 児童数は約 500 名、うち特別支援学級の児童が 50 名、 教諭・職員数が約 40 名です。

こちらの小学校は 2020 年、市内で一番はじめに先行して学乳パックリサイクルに取り組み、他の学校に情報提供をされたことから、今回の視察について西東京市教育委員会よりご紹介をいただきました。



取り組みの経緯ですが、2019年の2学期の終わりに西東京市教育委員会よりお話があり、2020年の2月に、まず給食主任をされている先生が担任の3年生のクラスでどのような方法が良いかを試行錯誤し、栄養士の先生とも協議しながら、市の予算で独自で用具をそろえていったそうです。

リサイクル方法は、給食を終えた児童各自が牛乳パックを手開きして、食器 を戻すのと同時に、手開きしたパックを水切りかごの外容器に置きます。

クラスの当番がまとめて水道場に運び、まずかごを使って押し洗いします。 3回洗ってから、かごにパックを縦に並べて、教室で自然乾燥します。

翌日乾いたパックを牛乳の入っていた食缶に入れてワゴンに乗せ、各階の配 膳用エレベーター前に運びます。ここまでが児童の作業内容です。

エレベーターでワゴンを下すのは調理員さんの仕事で、1階に降りたワゴンから、各クラスの牛乳パックを取り出してコンテナに入れ替えて、倉庫に保管します。

1日分の牛乳パックはコンテナ1個におさまり、毎週水曜日に市の委託で古紙回収業者が回収に来るので、保管スペースは5つのコンテナを積み上げる程度で済んでいます。

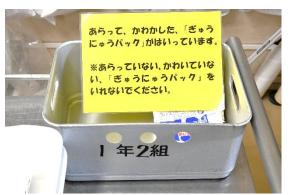
入学したばかりの1年生に、担任の先生が開き方を手取り足取り指導したり、今年はコロナの影響もあったり、また特別支援学級の生徒さんへの担任による指導も大変だったりと、最初はいろいろご苦労もあったようですが、先生方が根気強くご指導下さったおかげで、現在はすっかり定着していました。







各所にいろいろな工夫が見られ、用具もコンパクトで利用しやすく、そのことも継続の要素になっていると 感じました。一部ですがご紹介いたします。





牛乳パックをまとめ洗いする当番は、クラスによって異なりますが、 このクラスでは牛乳パック整理係が担当。先生の作成した作業進行ボ

最初の頃、洗わずに牛乳パックを食缶に入れる児童がいたため、左上の写真のような注意書きを作って、 各クラスに運ばれる給食のワゴンに置いたそうです。今でも牛乳の食缶の中に入れて周知していて、洗ってい ない牛乳パックはありませんでした。1年生でも手開きは1か月くらいでマスターしたようです。





あすなろ学級(特別支援学 級) の児童だけは、水道場で 銘々牛乳パックを洗って水桶 に重ねる方法だそうですが、 上手に開いていました。担任 の先生にお聞きしたところ、 できるようになるまで1学期 くらいかかったそうです。





コンテナは全校1日分の 牛乳パックが丁度入る大き さです。詰めて、裏の倉庫 に運ぶのは調理員さんが担 当しています。

#### 牛乳アレルギーの児童に配慮しながらリサイクルを実施 練馬区立開進第四小学校

12月2日には、練馬区教育委員会にご紹介いただき開進第四小学校を訪問しました。

児童数は547名、教員・職員数約30名、給食は自校方 式です。

取り組みの経緯ですが、牛乳供給業者が2020年4月よ り牛乳パックの回収方式を変更することとなり、練馬区教 育委員会では各学校でリサイクルすることを決めました。 2019 年 1 月~3 月に区内の小中で試験的な取り組みを経 て、従来の「洗わないでたたむ」というやり方を切り替え、 学校側で開いて洗って乾かす方法でリサイクルを行うこと となったそうです。



2020年4月から開始予定でしたが、コロナの影響で6月からの実施となりました。

用具の水切りカゴは練馬区から支給され、この他に保護者からの要望もあってコロナの感染予防のため、 ポリエチレン手袋の支給もあったとのことです。手袋については最初の 1 回のみの支給で、無くなった場合 は学校で購入することになっているそうです。

リサイクルの方法は、東小学校と同様に給食終了後、その場で 一人一人が牛乳パックを手開きして、食器を戻しながら、水切り かごにパックを置きます。その日の当番が(日直だったり、出席 番号順だったりクラスによって異なります。)まとめて水道場で溜 め洗いをします。

この学校では牛乳アレルギーの児童が2名いるため、絶対に牛乳に触れることのないよう牛乳パックの洗い場を、各階の端のスペースにある水道場に決めています。

このように洗い場を決めておくことで、アレルギーのある児童は、そのスペースに立ち入らないよう気を付けることができます。 また、アレルギーのある児童のいるクラスだけは、リサイクル 未実施で廃棄していますが、その牛乳パックの数を練馬区教育委員会の保健給食課に報告しているとのことです。

洗い終わった牛乳パックは、水切りかごに立てて、水道場横に 設置している棚で自然乾燥させ、翌日食器を戻すワゴンに置いて、 調理場に運ばれます。





調理員さんがまとめて袋に入れますが、1日2袋で収まるそうです。翌朝牛乳を納入する配送業者が、その袋を持ち帰るという毎日回収なので、保管スペースの必要はありません。

1年生にも手開き作業がしっかり定着していますが、力が弱いので上手に開けるまで時間がかかったようです。特に底の重なった部分を開くのは大変で、作業している男の子たちに聞くと「めんどうくさい!」と本音を漏らしていました。それでも指導する先生としては、きちんと開くことで乾燥しやすく、夏場の臭いも防げるので、隅々まで開くことをすすめ、また水切りかごはこまめに専用スポンジで洗い、定期的に消毒するなど衛生面にも気を配っていらっしゃいました。













#### 視察を終えて

今回の視察は、山田洋治商店の山本専務より西東京市及び練 馬区の教育委員会ご担当者を紹介いただき、コロナも落ち着 いていたので、実現できました。

両校とも、お忙しい中丁寧にお答えいただき、おかげで給食 主任や栄養士の先生が試行錯誤されながら編み出した、効率 的で児童にもあまり負担感のないようなリサイクル方法を拝 見することができました。それにより、給食を終えたら牛乳パックを開くことは、子どもたちにとって日常当たり前に行う 作業となっています。さらには給食委員会の児童がリサイク



ルについてのスライドを作って発表することを考えたり、牛乳パックの開き方についての手順を動画にしようと考えたりと、次への活動につなげていて、子どもたちの持つ成長力は素晴らしいと感じました。

先生方のご指導の賜物であると同時に、リサイクルを決定した教育委員会の決断力、また回収業者、牛乳納入業者の理解・協力がなければ、学乳パックリサイクルは成り立たなかったでしょうし、ここに至るまでに関係者で何度も協議を重ねたことと思います。

廃掃法を盾に、リサイクルの道筋もつけずに、牛乳業者が一方的に学乳パックの引き取り停止を行ったところでは、自治体も混乱し、結局学乳パックは廃棄されることとなっています。

学校現場の先生に伺うと、確かに大変だったけれど、ごみにするのにもお金がかかることを考えればリサイクルする方が有効との答えが返ってきました。丁寧に話し合いを重ねて相互理解のもとに学乳パックリサイクルに舵を切った現場の方の言葉には重みがありました。

一度、トイレットペーパーの支給もあったそうで、子どもたちがリサイクルに貢献できていると実感したことでしょう。 さらに SDGs の学習に発展していくことを願っています。

#### その他のニュース

#### ◆紙好き交流センターと、葛飾特別支援学校を訪問しました

葛飾特別支援学校では作業学習の中に、牛乳パックの再生手すき紙作りを取り入れています。 担当の先生より、技術向上、製品開拓などで指導者を探しているというご相談があり、紙好き交流 センターに、都内の指導者をご紹介いただこうとしました。しかしながら、紙好き交流センターの 指導が一番なので、無理をお願いして埼玉県の特別支援学校への訪問の機会を使って、去る 10 月 22 日 葛飾特別支援学校に立ち寄っていただきました。作業工程を見ると紙が均等に漉けてなく、代表の奥上 さんはすかさず、粘剤に使用しているコーンスターチが、ポリネットと併用しているすだれの隙間を埋 めてしまい、水切りが悪くなっていることを指摘していました。他にも的確なアドバイスをされ、その 上、漉き枠や水切り台、バキュームを無期限で貸与され、先生方は大変感謝していました。

今後も都の外部専門委員制度の予算を活用して、 継続した指導を紙好き交流センターにお願いして いくそうです。

奥上代表と河田さんに 心より感謝いたします。





◎牛乳パックリサイクル・牛乳パック再利用マークについてのお問い合わせは

全国牛乳パックの再利用を考える連絡会 / 牛乳パック再利用マーク普及促進協議会

TEL.0554-22-3611

FAX.0554-56-9216

E-mail info@packren.org

ホームページ http://www.packren.org

〒401-0012 山梨県大月市御太刀 1-2-10